

上馬地区防災計画

[平成29年作成]

上馬地区

【上馬地区防災計画作成団体】

上馬地区防災塾参加団体	
上馬東町会	上馬西町会
上馬北部町会	上馬・駒沢明和会
駒沢親和会	駒留長寿会
上馬健好会	上馬地区身近なまちづくり推進協議会
上馬地区民生委員・児童委員協議会	日赤上馬分団
世田谷消防団第13分団	上馬あんしんすこやかセンター
世田谷地域社会福祉協議会	中里通り商店街振興組合
居宅介護事業所 ウェーブ	LITALICO ジュニア駒沢教室
みかみ介護支援センター	絆ひだまりの会デイサービス三軒茶屋
デイホーム上馬	ナイスケア世田谷介護センター
あんくる訪問介護サービス	居宅介護支援事業部 SORA
ケアプラン駒沢	さくらケア駒沢居宅介護支援事業所
フレンズ介護保険サービス	株式会社 あかね
三軒茶屋居宅介護支援事業所	世田谷区立駒沢生活実習所
Navio けやき	(社福) 東京育成園
駒澤大学	ECO・環境保護サークル Green grow
駒澤大学 ボランティアサークル	駒沢小学校・駒沢小学校 PTA
駒沢中学校・駒沢中学校 PTA	駒沢中学校生徒会
世田谷警察署	世田谷消防署
世田谷区建設団体防災協議会	

上馬地区区民防災会議		
上馬東町会	会長	宇佐見 重勝
	防災防犯防火部長	安田 稔男
上馬西町会	町会	下山 芳男
	副会長	千葉 博司
上馬北部町会	会長	平山 雅義
	副会長	平石 忠秋
	防災部長	中泉 元尋
上馬・駒沢明和会	副会長	松村 善雄
	防災担当部長	寺中 隆
	防災担当副部長	芝橋 隆志
駒沢親和会	会長	白須 勝敏
	青少年部長	横溝 尚行
上馬まちづくりセンター	所長	村上 陽一
	まちづくり・防災担当係長	久我 慶子

目 次

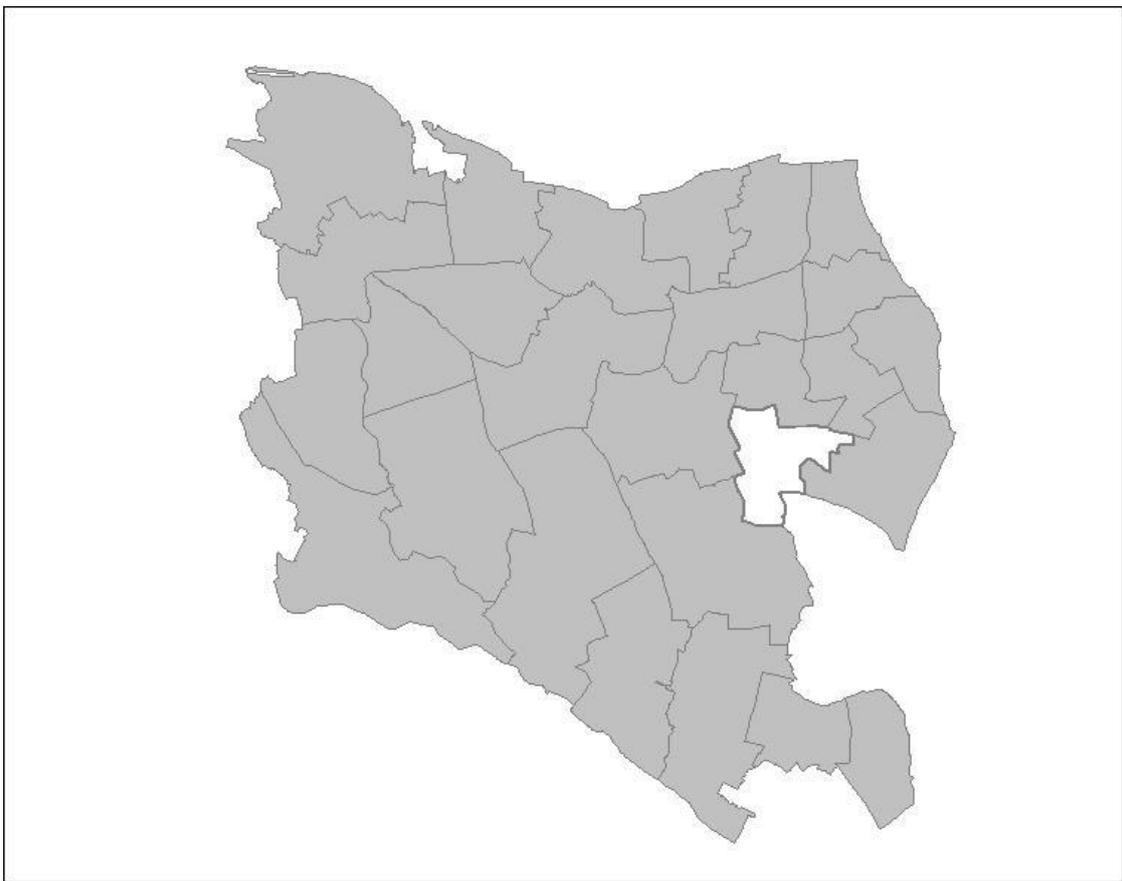
1. 上馬地区の特性	
(1) 自然特性（面積、位置、標高・急傾斜地等）	1
(2) 社会特性（人口、耐火率、土地利用等）	2
(3) 被害想定	4
(4) 防災資源	6
2. 各団体の防災活動～現在の取り組み状況～	7
(1) 集計表	
3. 上馬地区の課題と取り組み	15
(1) 近隣・要援護者の安否確認、その後の避難・救援	
(2) 避難所の運営組織をどう作るか	
(3) 避難所組織の応援組織をどう作るか	
4. 今後の取り組み	17
(1) 今後の取り組み	
・短期（今できること。1年以内にやること）	
・中期（1～2年でやること）	
・長期（3～5年でできること）	
参考：アンケート集約結果	18

1. 上馬地区の特性

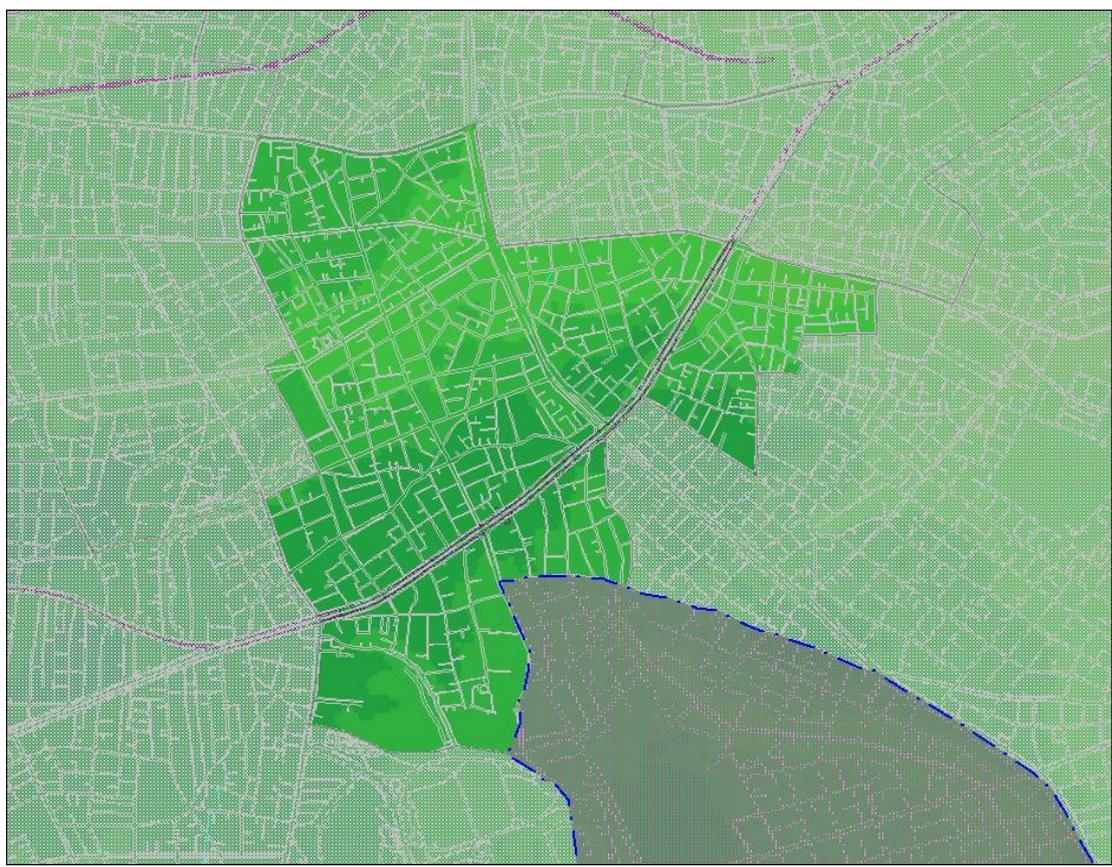
(1) 自然特性

面積	1.36	Km ²
----	------	-----------------

位置



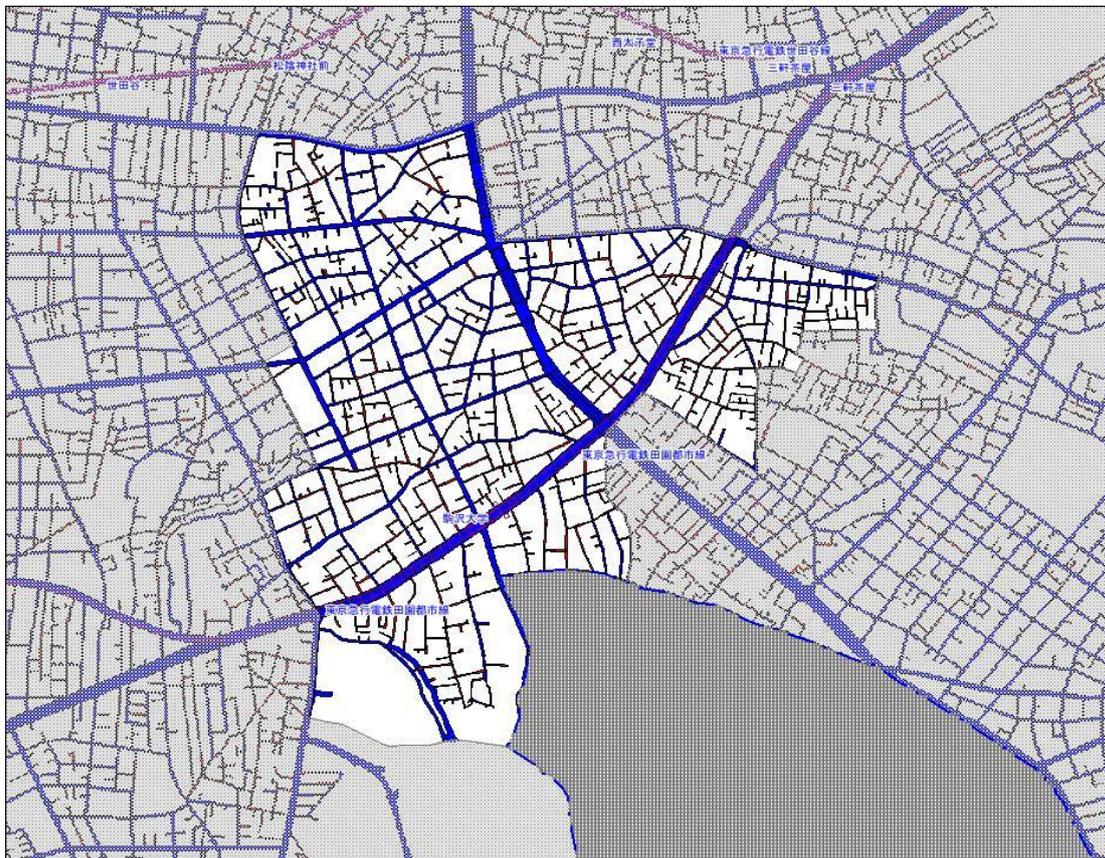
標高・急傾斜地



(2) 社会特性

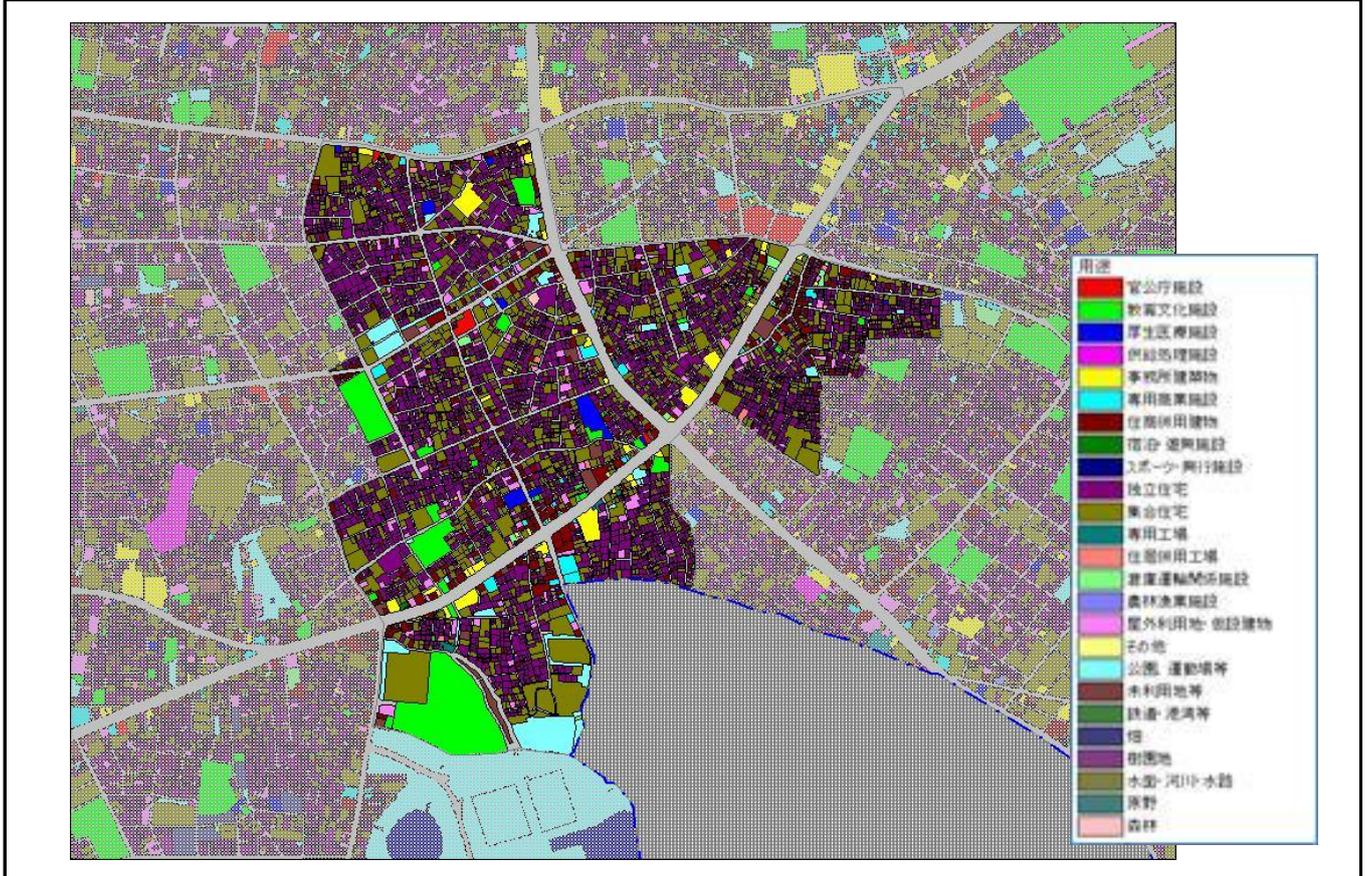
人口	27,684 人	細街路率	45.3 %	
世帯数	15,966 世帯	昭和56年以前木造建物棟数密度	156.2 棟/Km ²	
1世帯あたり	1.73 人	耐火率	76.9 %	
若年層数(15才未満)	2,781 人	土地利用(宅地)	71.9 %	
若年層率(15才未満)	10.0 %	土地利用(宅地以外)	28.1 %	
高齢者数(65才以上)	5,096 人	鉄道駅	東急田園都市線駒沢大学駅	
高齢者率(65才以上)	18.4 %			
昼間の人口	39,994 人	産業	商業	90.5 %
夜間の人口	27,452 人		工業	9.5 %
昼夜間人口比	1.46 -		農業	0.0 %

道路・公共交通機関



(2) 社会特性

産業

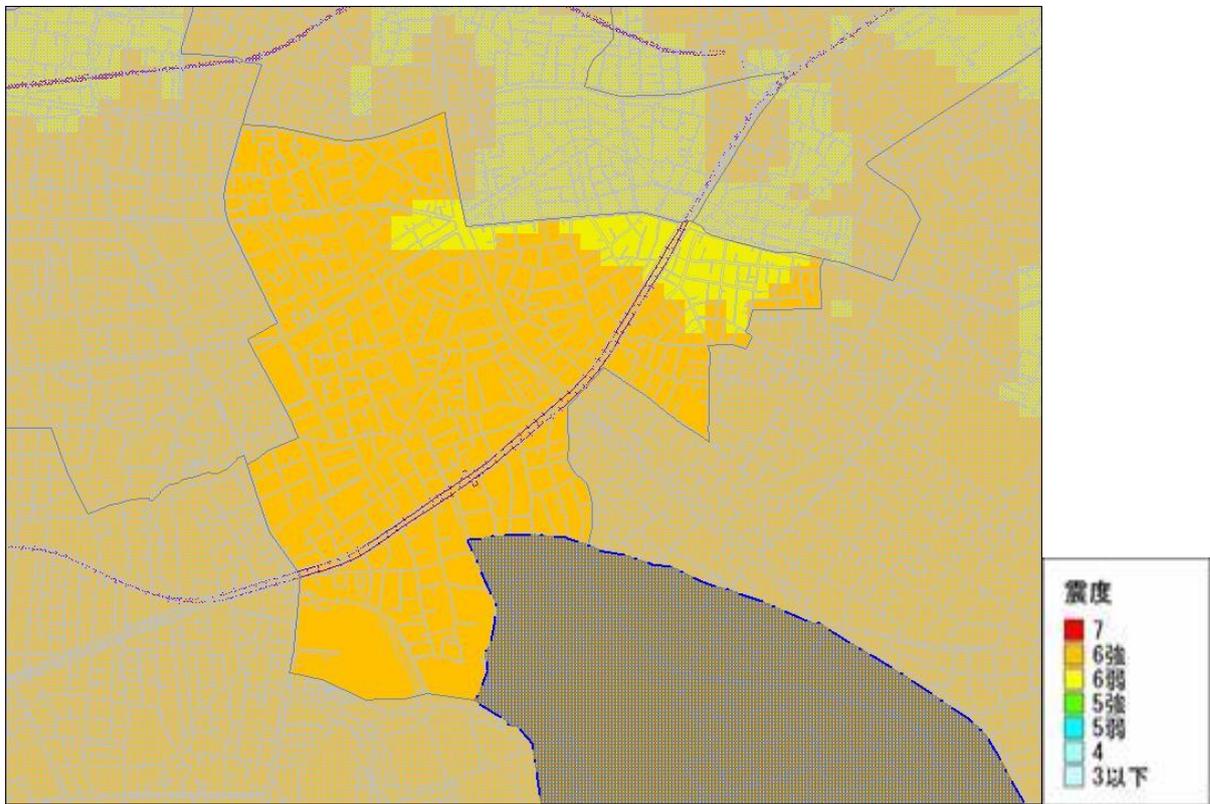


世田谷区の町丁別人口と世帯数 平成27年9月1日現在
町丁別昼間人口(推計) 平成22年国勢調査 世田谷区 平成25年6月
平成23年度土地利用現況調査データ 平成24年2月

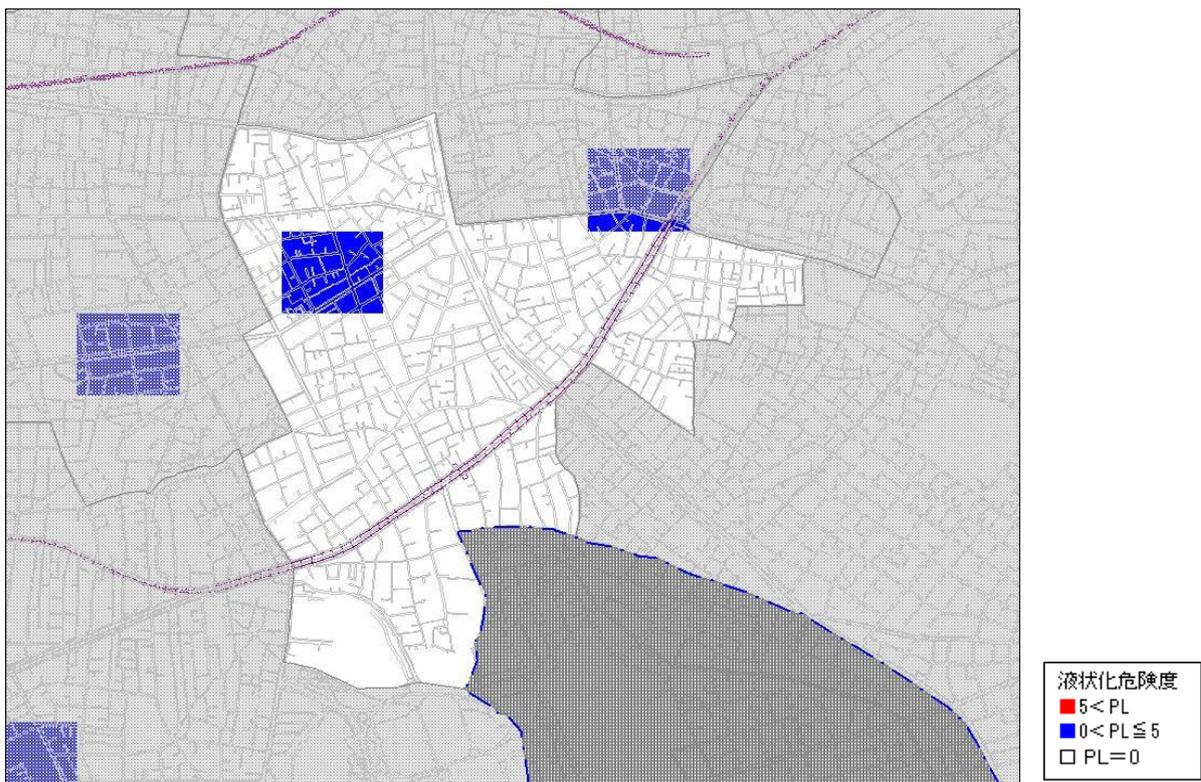
(3) 被害想定

全壊棟数	179 棟	死者	17 人
半壊棟数	460 棟	負傷者	195 人
全焼棟数(倒壊建物含まず)	549 棟	うち重傷者	36 人

震度分布

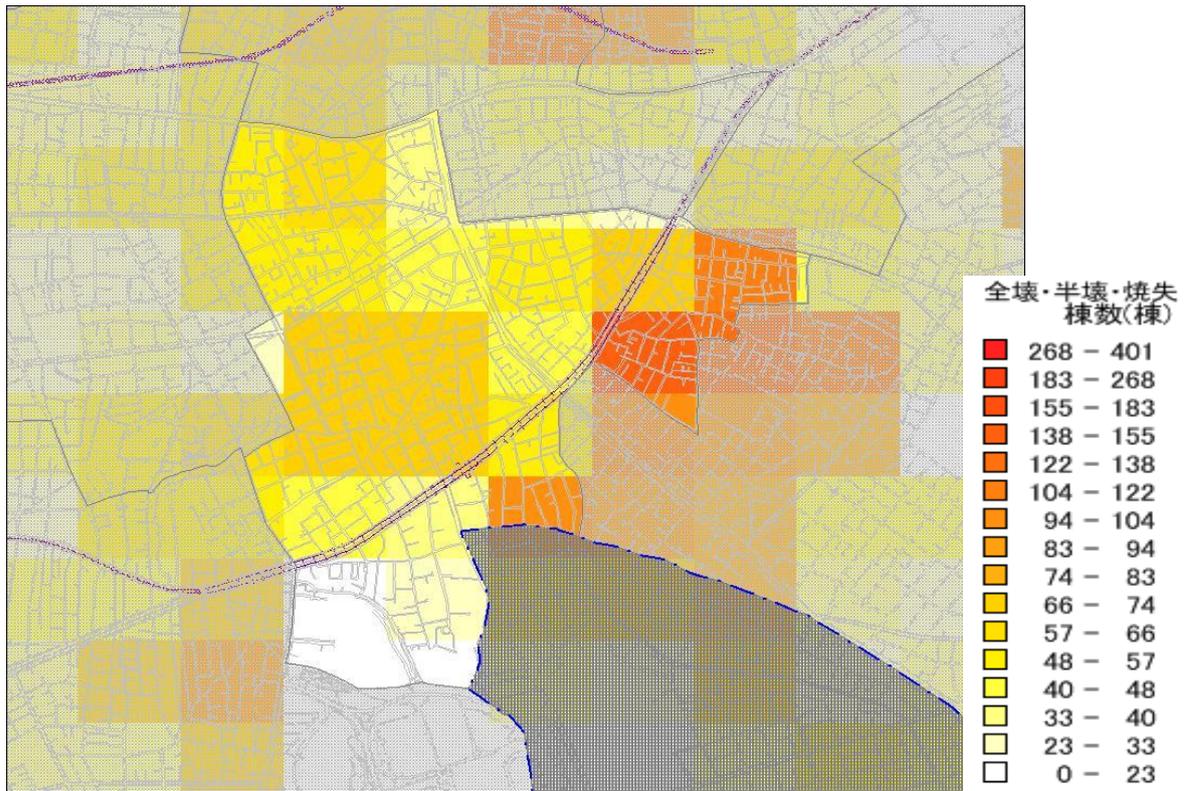


液状化分布



(3) 被害想定

被害棟数分布

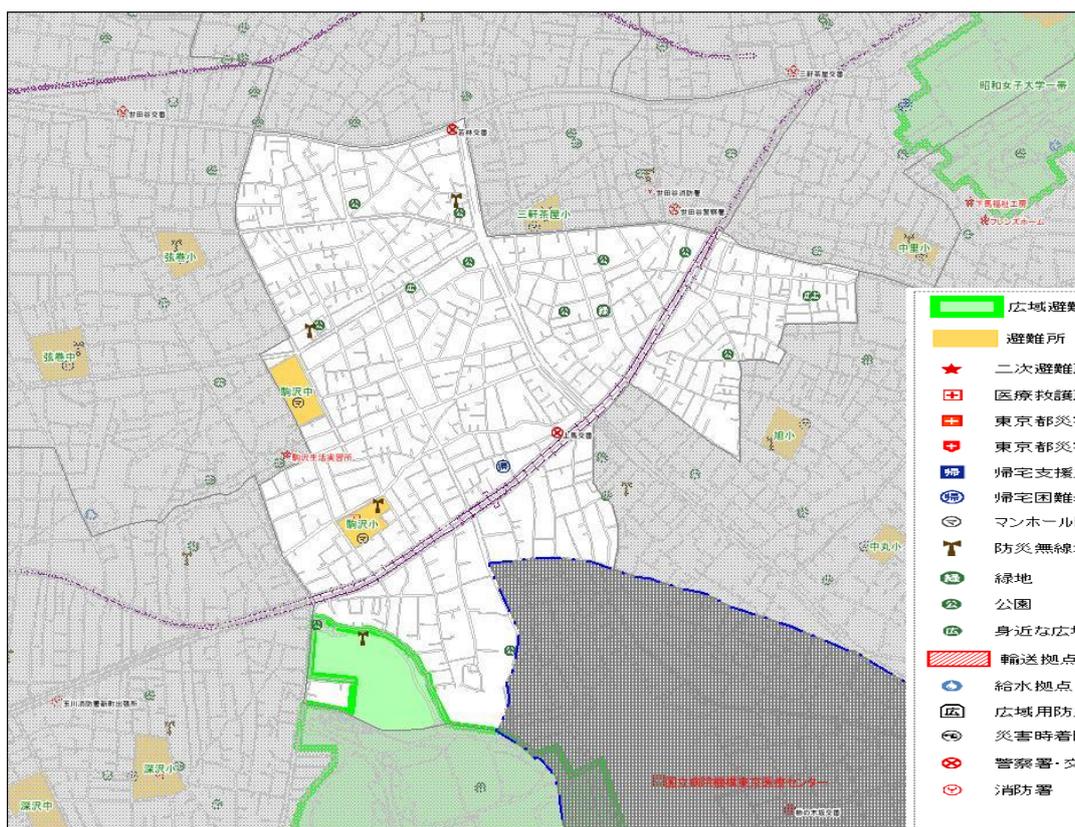


首都直下地震等による東京の被害想定報告書 東京都防災会議 平成24年4月18日公表
世田谷区防災マップデータ 平成26年5月26日現在
マンホールトイレ設置場所 平成28年3月31日現在

(4) 防災資源

広域避難場所	駒沢オリンピック公園一帯 昭和女子大学一帯				
指定避難所	駒沢小(医療救護所)・駒沢中 その他管内の避難所ではないが、管内住民が対象となる避難所として、旭小、三軒茶屋小、弦巻小・中学校				
福祉避難所					
医療救護所	駒沢小学校				
東京都災害拠点病院	東京医療センター ※区外(目黒区)だが、上馬地区から近い				
東京都災害拠点連携病院					
帰宅支援ステーション				帰宅困難者支援施設	1カ所 上馬地区会館
マンホールトイレ	2ヶ所	防災無線塔	4ヶ所	緑地	1ヶ所
輸送拠点					
給水拠点	駒沢給水所 ※管内ではないが、隣接した地区にある				
広域用防災倉庫					
警察署・交番	若林交番 上馬交番				
消防署	世田谷消防署(三軒茶屋2-33-21) ※管内ではないが、隣接した地区にある				

防災資源



- 広域避難場所
- 避難所
- ★ 二次避難所(福祉避難所)
- ☒ 医療救護所
- ☒ 東京都災害拠点病院
- ☒ 東京都災害拠点連携病院
- ☒ 帰宅支援ステーション
- ☒ 帰宅困難者支援施設
- ☒ マンホールトイレ
- ☒ 防災無線塔
- ☒ 緑地
- ☒ 公園
- ☒ 身近な広場
- ☒ 輸送拠点
- ☒ 給水拠点
- ☒ 広域用防災倉庫
- ☒ 災害時着陸候補地
- ☒ 警察署・交番
- ☒ 消防署

2. 各団体の防災活動～現在の取り組み状況～集計表

団体名	防災担当者数	防災に関する会議		防災活動、資機材配備等の実施				消火資機材の配備							
		実施している	実施していない	会議名	実施回数 (年間)	実施している	実施していない	配備している	配備していない	スタンドパイプ		D型ポンプ		消火器	
										数量	場所	数量	場所	数量	場所
上馬東町会	6	○		上馬地区区民防災会議 町会役員会	11	○	○	○	○	2	上馬東町会中里 会館 上馬1やまもも広 場	3	やまもも1 中里2	21	中里 部長・副部長宅
上馬西町会	8	○		上馬地区区民防災会議	11	○	○	○	○	3	上馬2丁目(高橋 宅)、3丁目(加納 宅)、4丁目(若山 宅)	1	まちづくりセンター		
上馬北部町会	3	○		上馬地区区民防災会議 町会役員会(随時)	11	○	○	○	○	7	個人宅(4件) 上馬東公園 上馬北公園	1	上馬北公園	2	上馬東公園 上馬北公園
上馬駒沢明和会	4	○		地域防災学習交流会 役員常会日に防災報告を実施 上馬地区区民防災会議	1 11 (毎月 5日)	○	○	○	○	4	町会内防災倉庫 4ヶ所	2	町会内防災倉庫 1ヶ所		
駒沢親和会	2	○		上馬地区区民防災会議	2	○	○	○	○	3	駒沢会館、上馬地 区会館他	1	上馬地区会館	3	駒沢会館
三菱重工駒沢社 宅防災部		○			1	○	○	○	○					219	各階

団体名	その他		防災訓練等の実施							
	名称	場所	実施している	実施していない	防災訓練		救命救急講習会		その他	
					回数	実施場所	回数	実施場所	訓練名称	実施場所
上馬東町会			○	1	上馬公園とやまもも隔年		2	中里会館 上馬公園	防災に関する講演会 避難所運営訓練	中里会館 旭小学校 中里小学校
上馬西町会			○	1	野沢児童遊園ほか		1	上馬まちづくりセンター	避難所運営訓練	駒沢小学校 三軒茶屋小学校
上馬北部町会			○	2	上馬2丁目 1箇所 上馬4丁目 1箇所		1	上馬まちづくりセンター	避難所運営訓練	駒沢小学校 三軒茶屋小学校
上馬駒沢明和会			○	2	小泉公園、駒沢中学校		1	上馬まちづくりセンター	避難所運営訓練	駒沢中学校
駒沢親和会			○	2	駒沢小学校他		1	上馬まちづくりセンター	避難所運営訓練	駒沢小学校
三菱重工駒沢社宅防災部			○	1	社宅内					

団体名	防災マップ											
	掲載情報											
	作成済	作成中	作成検討中	作成予定なし	一時集合所	広域避難場所	避難所	街路消火器	防火水槽	震災用井戸	消火栓	その他
上馬東町会	○				○	○	○	○	○		○	防災倉庫の場所 災害時のみ開通する避難通路
上馬西町会	○			○	○		○					
上馬北部町会	○				○	○	○	○				
上馬駒沢明和会	○				○	○	○	○			○	
駒沢親和会	○							○		○	AED	
三菱重工駒沢社 宅防災部	○				○	○	○				○	

団体名	防災士等の数							災害時連携・協定 (区を除く)		避難行動要支援者協定		
	防災士	把握していない	地域防災リーダー	把握していない	他団体との連携	協定締結	特になし	連携先・内容	協定先・内容	締結している	検討中である	予定はない
上馬東町会	3				○			中里商店街 三軒茶屋病院 社員寮及びマンション		○		
上馬西町会	○	○	○			○						○
上馬北部町会		○		○			○					○
上馬駒沢明和会	3		1				○			○		
駒沢親和会	1						○					○
三菱重工駒沢社 宅防災部		○		○						○		

団体名	避難行動要支援者対策			連絡手段の確保			防災活動に関するマニュアル (避難所運営マニュアルを除く)					
	日頃からの見守り活動	要配慮者体験	その他	特に実施していない	簡易無線	連絡網の作成・整備	その他	策定済み	策定中	検討中	予定なし	名称
上馬東町会	○		町会防災訓練に取り入れている 講演会を実施 年3回の防災訓練時訪問する			○		△				
上馬西町会				○							○	
上馬北部町会				○		○					○	
上馬駒沢明和会	○					○				○		
駒沢親和会				○	○	○					○	
三菱重工駒沢社 宅防災部				○		○		○				

団体名	救出救助に係る資機材の配備															その他	保管場所
	配備していない	配備している	リアカー	はしご	脚立	担架	救急セット	ヘルメット	救助工具セット	ボール	スコップ	手おの	のこぎり	ジャッキ	両口ハンマー		
上馬東町会	○	3	3	2	1	1	50	1	2	4	1	2			2	2	中里会館 防災倉庫
上馬西町会	○	4				2	33										防災倉庫
上馬北部町会	○	1	1		2	2	40	2	2	2	2				1	1	
上馬駒沢明和会	○	1		1	1	1	24		1	3		1	1	1			大型カッター1個、手押し車3台 町会内防災倉庫
駒沢親和会	○	1		2		1	○ 3										駒沢会館、上馬地区会館、駒沢西公園
三菱重工駒沢社宅防災部	○					1											

団体名	食糧等の備蓄													保管場所	備蓄品配布先	
	備蓄していない	備蓄している	アルファ米	ビスケット・乾パン	おかゆ	飲料水	缶詰類	レトルト食品類	カセットコンロ	その他災害用食料	非常用トイレ	照明	発電機			給水タンク
上馬東町会	○		500					30				1	40	懐中電灯 40 ハンドマイク 20 毛布 20	中里会館及び各役員宅	
上馬西町会	○														水槽 2	防災倉庫
上馬北部町会	○	○	○					2								
上馬駒沢明和会	○		50			12ケース(415ml、24入)	320(50食入、6ケース+20食)				1	1		石油コンロ2基、大型鍋・やかん各1個	町会防災倉庫3ヶ所	
駒沢親和会	○															
三菱重工駒沢社宅防災部	○									180	18				社宅内地下倉庫	

団体名	その他の防災活動
-----	----------

上馬東町会

上馬西町会

上馬北部町会

上馬駒沢明和会
 ・毎月2回の防犯パトロール。8月、12月は夜間パトロールも実施
 街路灯の確認、街路消火器の点検、数名がゴミ袋を持参し、自立つゴミを回収、放置自転車、放置物の確認、落書きの確認等を行う

駒沢親和会

三菱重工駒沢社
 宅防災部

3. 上馬地区の課題と取り組み

上馬地区は、環状七号線と国道246（玉川通り）で分断されており、そのことが地域住民のコミュニティ活動、防災活動の課題となっている。

課題1 近隣・避難行動要支援者・要配慮者の安否確認、その後の避難・救援

■意見

- ・まずは自助
- ・上馬地区は、5つの町会があるが、区と災害時の協定を結んでいるのは、そのうち3つの町会である。
- ・災害時、避難所に参集することになっている避難所運営委員が、避難行動要支援者・要配慮者の安否確認をする人になっている。
- ・現状、避難行動要支援者・要配慮者方と顔の見える関係ができていない
- ・支援する側の人確保が困難
- ・避難行動要支援者・要配慮者対応の取り組みが未整備

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ①自助の啓発、そして共助の重要性を発信・啓発する
- ②福祉事業所との連携による安否確認について話し合い、ルール等を決める。
（上馬地区高齢者見守りネットワーク会議参加者との連携をすすめる）
- ③協定締結団体は、日ごろ（平時）からの関係作りをすすめる
- ④避難所運営訓練に避難行動要支援者・要配慮者対応の訓練を取り入れる
- ⑤災害時掲出プレートの作成・配布・啓発

■各団体の今後の取り組みの方向性

- ・災害時要援護者協定未締結の町会については、締結している町会との情報交換等により、締結について検討する
- ・締結団体は、町会防災訓練のメニューに入れる
- ・町会行事の機会を捉える等、避難行動要支援者・要配慮者との関係作りを努める

課題2 避難所の運営組織をどうつくるか

■意見

- ・避難所がどこか知らない人がいる
- ・組織構成員が町会役員とPTAだけになっている（PTAは1年交代で構成員となっており、話し合い・活動の継続が難しい）

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ①避難所運営を知ってもらい、運営組織に入っていないなくても、いざというときは担い手になってもらえるよう啓発していく
- ②組織構成員が町会役員主体となっているが、検討する
- ③PTAの避難所運営委員は役職退任と共に、避難所運営委員を退任するが、PTA役員退任後も地域の人として継続的に関われるように働きかける

■各団体の今度の取り組みの方向性

- ・地域住民に在宅避難が最善であるという啓発をおこなうと共に、避難所運営組織について知ってもらい人材発掘する。
- ・PTAとの協力関係を積極的にもつ

課題3 避難所生活の応援組織をどうつくるか

■意見

- ・避難所運営委員だけでは、まかなえない
- ・避難所運営委員が、何でも委員がやらなければならないと思わないよう意識すると共に、地域住民に共助の意識を啓発し、いざというとき担い手になるよう、日常の中でつながっておく
- ・町会の防災訓練は、曜日や時間を変えて実施することで参加者をひろげ、避難所生活をする場合の共助の啓発をする。
- ・避難所運営訓練実施時、応援（地域住民、ボランティア）受け入れについてもイメージし、意見交換しておく。
- ・駒澤大学の学生が地域で力になってくれないか。
- ・避難所運営委員の高齢化

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ①学校や事業者に働きかける
- ②ボランティアを確保する

■各団体の今後の取り組みの方向性

- ・総会開催時など、団体の人が多く集まる場を活用し、避難所運営・避難所運営の応援について協力を求める

4(1)今後の取り組み

	短期計画	中期計画	長期計画
○上馬地区区民防災会議	町会・消防団等と連携しながら、地区の防災リーダーとなる		マンションとの連携 駒澤大学との連携
○「安否確認カード」	作成・配布・周知		
○避難所の周知	・「安否確認カード」裏面活用による周知 ・各団体の広報物等でも周知にご協力いただく ・病院、診療所待合室への掲示等協力者を増やす	避難所を知らない人がいない地区を目指す	
○人材発掘	外国語、医療、マッサージ、カウンセラー等の把握	顔合わせ、訓練参加への促し	
○防災訓練参加者の拡大	地区住民は、2年に1回以上防災訓練に参加する		
○災害時のペット	検討する	訓練内容に入れる	
○避難所運営委員の育成	PTA 役員退任後も継続的に避難所運営にかかわる方策検討		
○消防団との連携	上馬地区区民防災会議との合同会議開催	○町会役員だけでなく、避難所運営委員として活動できる人材の発掘と育成	
○自助の促し	各団体主催の行事で防災の啓発（自助の促し）発信をする	○在宅避難のすすめ	
○広報の充実	・広報板、町会掲示板に防災情報を途切れず掲示する ・まちづくりセンターHPでの継続的発信		